

(2) 施策の方針

第3章 都市環境を保全・創造するまち

分野(3) 生活環境

施策の方針⑥ 海浜の環境保全

<目標とすべきまちの姿>

関係機関等との連携により、海浜が適切に保全されています。

1 事業評価結果一覧表

環境部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
環境-22	海岸清掃事業	15,553	22,995	1.0	b	B
環境-23	海浜保全事業	303	7,745	1.0	a	C

2 平成26年度末の目標

環境部

市民等が安全で快適に過ごせる海浜が適切に保全されるよう、関係機関等と連携して海岸美化を取り組みを進めていく。

3 平成26年度の取組の評価

環境部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

海岸の美化を図るため、(公財)かながわ海岸美化財団と連携して海浜の適切な保全に向けた取り組みを進めた。市民や活動団体とともに、海岸清掃やごみ散乱防止の啓発活動を実施するとともに、海・浜ルール看板の修繕を行った。安全で快適に過ごせる海浜づくりとその活用を図るため、海浜の保全活動を活動団体及び県や3市(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市)の広域連携により実施した

4 今後の方向性

環境部

散乱ごみのない良好な海岸を保つためにも、定期的な清掃を継続して実施していく。海浜保全事業についても、活動団体及び県や3市と広域連携により実施していく。

5 平成27年度末の目標

環境部

引き続き、市民等が安全で快適に過ごせる海浜が適切に保全されるよう、関係機関等と連携して海岸美化を取り組みを進めていく。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・「海岸清掃・海浜保全事業」を実施した。
- ・かながわ美化財団や市民ボランティア、学生等と協働で清掃、ごみ散乱防止の啓発を行った。
- ・県、隣接する他市と協働し海浜の保全・安全事業を推進した。

2 課題・提言

- ・「海浜におけるマナー対策」の強化が求められる。
- ・マリンスポーツは観光客の目的の中でも割合が大きい。マナーや安全な利用の啓発を今後も続けて欲しい。
- ・東日本大震災後は防災の側面も問われるため、総合的な対応に期待する。